

スタディツアー・エクスカージョン 開催結果概要

1. 概要

世界防災フォーラムの登録参加者（主に外国人参加者）向けに、市内の復興の取り組みと現況を伝えるスタディツアー及び、東北の復興状況に加え自然、歴史、食などの多様な魅力を体験いただくエクスカージョンを被災4県及び一般社団法人東北観光推進機構と連携して実施した。

2. 実施内容

[スタディツアー]

実施日	コース名	主な視察先
26日	S1	荒浜小学校～メモリアル交流館
27日	S2	荒浜小学校～東部道路津波避難階段
	S3	南蒲生浄化センター～津波避難タワー～キリンビール仙台工場
	S4	岩沼市千年希望の丘～名取市閑上～荒浜小学校～もろやファームキッチン
28日	S5	海岸公園荒浜地区～荒浜小学校～メモリアル交流館

[エクスカージョンの概要]

実施日	コース名	主な視察先
28日 ～ 29日	A 岩手県コース	遠野市後方支援資料館、宝来館(宿泊)、三陸鉄道「震災学習列車」、陸前高田奇跡の一本松、世界遺産平泉中尊寺
	B 宮城県コース	南三陸町防災対策庁舎・南三陸町役場(佐藤町長から講和)、南三陸ホテル観洋(宿泊)、石巻市内、松島(五大堂・瑞巖寺)
	C 福島県コース	常磐自動車道、楡葉遠隔技術開発センター、スパリゾートハワイアンズ(宿泊)、いわき市内、アクアマリンふくしま
	D 青森県コース	八戸屋形船、八戸屋台村みろく横丁、陸奥湊駅前朝市、蕪嶋、種差海岸

3. 主催 仙台市（文化観光局東北連携推進室）

4. 参加者数 スタディツアー：28の国と地域より計102名
エクスカージョン：19の国と地域より計69名

5. 参加者からの声（アンケートより）

- ・「より良い復興」というコンセプトはとても良い。将来の震災に備える意識を保つために役立つでしょう。
- ・荒浜小学校を後世のための教育施設として残し、災害が多い国と共有するのは大事だと思う。
- ・多くの方が震災の経験を共有してくれた。地元ならではの観点やどうやって人々が知識を引き継いでいるかを知れたので、とても印象的だった。
- ・フォーラムのエクスカージョンとして、学びのたくさんあるプログラムだった。スタッフ皆様の気遣いに皆感動した。
- ・様々な国の人々とツアーに参加し、防災に関して意見交換ができたのはとても興味深く、意義があった。



震災遺構仙台市立荒浜小学校



東部道路津波避難階段



三陸鉄道「震災学習列車」



南三陸町役場



楢葉遠隔技術開発センター



シーグラスランプ製作体験